

広島市植物公園 見どころ案内

球根ベゴニア (シュウカイドウ科)

当園では年間を通じて球根ベゴニアが開花していますが、特にハンギングタイプは冬から春にかけて最も豪華に咲きます。

ツルバキア・フラグランサ (ネギ科)

南アフリカ原産。春咲きで、暖かい地域では冬から咲き始めます。花色は藤桃色から白色まであります。

サザンカ・寒椿など(ツバキ科)

ツバキ園には肥後椿を中心に200品種約600本のツバキが植えられています。サザンカ・ハルサザンカ(サザンカとツバキの交雑種)・寒椿などが咲いています。

野生ラン (ラン科)

本園では約1500種の野生ランを栽培していますが、開花した株をここに展示しています。東南アジアや熱帯アメリカなどの珍しい野生ランの花を見ることができます。

ハボタンのタペストリー

(アブラナ科)

紫や白に色づいたハボタンを使って、絨毯のように仕上げました。

パラグアイ

オオオニバス

(スイレン科)

オオオニバスは夏のイメージが強いですが、温かい熱帯スイレン温室では、冬でも花が咲きます。夜咲く花なので日中はしぼんでいます。

シナマンサク

(マンサク科)

中国中部原産の落葉小高木。庭木などの使われることが多く、花は1~3cmのリボン状花弁が伸びています。黄金色で、中心部が暗赤色です。

ロウバイ

(ロウバイ科)

名前に梅がつくことから梅の仲間と勘違いしやすいですが別科です。艶のある半透明の花弁が蠟細工の様であり、臘月(旧暦12月)に咲くのでこの名前になったと言われています。

大温室改修のため

休館中

リニューアルオープン
は平成30年春ごろです
(予定)

植物写真コンテスト作品展

~2月8日(展示室)

園内の植物や風景をテーマに募集した植物写真コンテストの入賞作品を展示します。

ヒイラギナンテン

‘チャリティー’ (メギ科)

北アメリカ原産で、花の少ない真冬に香りのある黄色い花を咲かせています。

